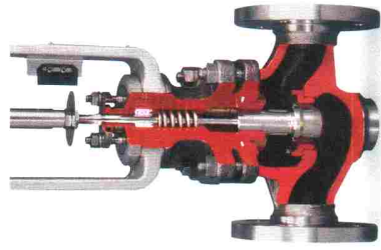


# “創造と挑戦”

## 東工・バルックス株式会社

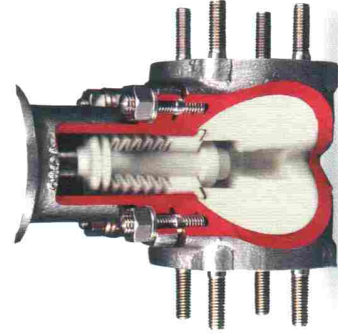
### 沿革

- 1953年 3月 創業者横山徳一が東京都渋谷に研究所を開業、コントロールバルブの研究を開始
- 1957年 2月 江戸川区平井に「株式会社東工研究所」を設立
- 1959年 8月 本社並びに工場を現在地に新築移転、生産能力倍増
- 1971年 9月 大阪営業所（現 支店）を開設
- 1977年 12月 高圧ガス用バルブの通産大臣（現 経産大臣）事業所認定
- 1980年 10月 福島工場完成、大型NCマシン導入
- 1982年 7月 本社工場にクリーンルーム完成、宇宙開発向けバルブ生産本格化
- 1984年 4月 「東工エンジニアリングサービス株式会社」(現バルックスエンジニアリング株式会社)を設立
- 1988年 8月 横山巖 取締役社長に就任  
12月 資本金3,000万円に増資
- 1988年 10月 第2回江戸川区優良工場表彰
- 1992年 8月 CI導入により社名変更「東工・バルックス株式会社」
- 1993年 4月 新型耐酸調節弁を開発（全国浄水場で薬注用のシェア95%）
- 1995年 1月 沖縄県北谷町に日本初の海水淡化設備に高圧海水用圧力流量調節弁納入
- 1998年 1月 ISO9001 品質マネジメントシステム認証取得
- 2002年 11月 福岡海水淡化設備に高圧海水用圧力流量調節弁納入
- 2004年 1月 第1回無担保社債（銀行保証付）発行
- 2004年 5月 環境省工コアアクション21 認証登録事業所（本社）
- 2005年 11月 株式会社日立製作所より品質保証体制認定
- 2006年 10月 高エネルギー研究所ニュートリノ超伝導設備用液化ヘリウム安全弁開発
- 2007年 2月 創立50周年をむかえる



**T-8110 型**  
**グローブ型調節弁**

一般産業を始め、各種産業向け  
水・蒸気・気体などの流量や圧力制御に使用されている汎用性の高いバルブ



**T-8200 型**  
**耐酸調節弁**

他社の追随を許さないバルブ  
酸性・アルカリ性流体用として化学プラントの廃液処理設備や全国の浄水場で活躍



**T-8020 型**  
**微量流量調節弁**

微量な流量を制御するためのバルブ  
水素製造装置や高付加価値流体に使用



**T-8800 型**  
**超低温用調節弁**

超低温流体（LN2、LH2など）用に開発されたバルブ  
各研究機関や試験設備、航空宇宙産業などの最先端技術設備に多数使用



**T-8920 型**  
**サニタリー調節弁**

食品・飲料関係の設備で使用される  
分解洗浄が容易に出来る  
接液部はバフ研磨させたバルブ